

ISO22000取得

添加物の海外輸出を加速

奥野製薬工業

奥野製薬工業の第五工場が9月18日、ISO22000を取得した。同社の創立120周年の節目に、国内の認証規格・HACCP導入型食添GMPから、国際認証へ移行した。これにより、添加物製剤の海外輸出をさらに加速させていく意向だ。

第五工場は、同社の食品部門におけるメインの製造拠点である。ベーキングパウダーや日持向上剤、品質改良剤など、主に食品添加物製剤を製造している。また2023年7月からは、ハラル認証取得製品の製造ラインも稼働している。

ISO22000取得

の背景には、輸出拡大やグローバル成長への狙いがある。昨年から認証取得の構想は練っていたものの、実際には今年4月から半年という極めて短期間での取得を実現した。特にトレーサビリティの確保、原材料の調達から製品出荷まで、フードチェーン全体を対象とした体系的な履歴管理を構築した。

なお第五工場は大阪市放出に位置し、竣工は2006年。敷地面積は1689・5㎡である。